

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会 弘前市準備委員会設立趣意書

「国民体育大会」の名称が、スポーツ基本法の改正により、令和6年大会から変更され開催される国民スポーツ大会は、昭和21年の第1回大会以来、わが国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催されます。

本県においては、昭和52年に第32回大会「あすなる国体」が開催され、本市ではテニス、体操、クレール射撃、ラグビーフットボール競技の会場地として、全国のトッププレーヤーが集結し、熱い戦いを繰り広げ、市民のスポーツに対する関心を高めるとともに、その後の本市のスポーツの普及・振興や市勢発展に大きな影響を与えたところです。

また、全国障害者スポーツ大会は、障害のある人がスポーツ大会に参加し、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与することを目的として開催されます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツに対する機運が醸成されているところであり、本市においては、共生社会ホストタウンとして、パラリンピアンとの交流や心のバリアフリーに関する取り組みを実施し、共生社会の実現を目指してきました。

このような中、令和8年に第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会が本県、そして本市で開催されることは、さらなるスポーツの普及・振興と市勢発展並びに共生社会の実現につながるものであり、本市の恵まれた自然、歴史、文化等の地域資源を全国の方々に発信する絶好の機会でもあります。

両大会の開催に向けた市民一体となった取り組みにより、市全体の連帯感を高め、本市が目指す「みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち」の実現にむけて、極めて有意義なものと確信しております。

このような意義ある両大会を成功に導くために、市民・各種関係団体・行政からなる「第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会弘前市準備委員会」を設立し、弘前市民の総力を結集して所期の目的を達成しようとするものであります。

令和4年6月27日

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会
弘前市準備委員会設立発起人

弘前市長	櫻田 宏
公益財団法人弘前市スポーツ協会会長	春藤 英徳
弘前商工会議所会頭	今井 高志
社会福祉法人弘前市社会福祉協議会会長	山形 正臣
弘前市教育委員会教育長	吉田 健